

事後評価シート

コード 6-3-2	事務事業名 難病者福祉手当支給事業	所管部課 保健福祉部障害福祉課
--------------	----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 難病者に難病者福祉手当を支給することにより、難病者の福祉の増進を図る。		事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業	
	実施内容、実施方法 東京都難病者等に係る医療費等の助成に関する規則に定める特殊疾病に罹患しており、同規則に基づく医療費助成制度の適用を受けている者。店頭てんかんに罹患している者に支給。月額5500円。支払い月3・7・11月。所得制限なし。市単独事業		根拠法令等 西東京市難病者福祉手当条例	
	事業開始時期	合併前から	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

評価指標の設定	活動指標名 申請件数	活動指標の考え方(定義) 申請した人の数
	成果指標名 1次 受給者数	成果指標の考え方(定義) 1次 受給した人の数
	1次	1次
	2次	2次

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	66,737	69,938	79,898	83,160
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		66,737	69,938	79,898	83,160
	所要人員(B)	人	0.5	0.5	0.5	0.5
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	4,137	4,164	4,093	4,093
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	70,874	74,102	83,991	87,253
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (申請件数)	千円	70	70	67	#DIV/0!
歳入	千円	0	0	0	0	
活動指標	目標値	人			1,320	1,260
	実績値	人	1,014	1,064	1,253	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値	人			1,253	1,260
	実績値	人	1,014	1,064	1,234	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	特に意見等はない。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	月額(最高基準額)比較で14位。最高額 武蔵野市で12,000円、最低額 あきる野市で2,000円。平均値(全市合計÷全市数)6,340円 11市が所得制限有・16市が心身障害者福祉手当との併給制限有
	運営上の制約条件・外部要因等	東京都の定める特殊疾病に罹患し、医療費助成制度の適用を受けている者を対象者としている。支払い月については、他の手当等が4・8・12月であるため、業務が集中しないようにしている。

コード 6-3-2	事務事業名 難病者福祉手当支給事業	所管部課 保健福祉部障害福祉課
--------------	----------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 1 上位施策の目的と一致していない・上位施策がない。	▼	1 障害者の負担の軽減になっている。
	目標の妥当性 1 目標に関する検討を何も行っていない	▼	
	緊急性 3 どちらかと言えば、実施した方がよい	▼	
2 市の必要性	法的義務性 2 法律・条例での規定はないが、通達や要綱・要領で実施が規定されている	▼	2 民間の保険加入者が障害者になって受ける給付金以外では手当の支給はない。
	必要性 2 豊かな市民生活の形成に寄与するサービスである	▼	
	民間との役割分担 4 他に同種・類似サービスを提供しているのは、他の公共団体のみである	▼	
3 内容の適切さ	ニーズ 1 市民(市内)ニーズが把握できていない、または、ニーズ把握が曖昧で説明できない	▼	1 手当額が適正であるかどうかについては、障害者のモデルケースについてシミュレーションする必要がある。
	規模・方法の妥当性 1 事業規模や方法は過去を踏襲しており、特に見直していない	▼	
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	▼	
4 実施手段の適切さ	有効性 1 質・水準の改善にはあまり取り組んでいない	▼	1 東京都では難病者に対する医療制度を実施しておりその対象者を支給対象者としている。
	効率性 1 具体的な計画や目標等に基づいたコスト低減には特に取り組んでいない	▼	
	独自性 3 国や都に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	▼	
合計		22	

総合評価	評価結果	判断理由、説明等
	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	他市等の状況を勘案し、標準的な支払額・方法となっていると思われるが、この制度については年齢・所得制限などの条件がないため、適正かどうかについては他のサービス・助成制度なども含め相対的に検証し、整合性を図る必要がある。難病手当を受給し、心障手当を受給し、タクシー料金助成を受け、各種割引を受けと複数の制度を受給する場合があります、相対的に検証する必要があります。

18年度における改善点	申請もれ、過払いなどが起こりにくいシステムの見直しにより適正な支出を行う。また、所得制限等を見直しを図る。本年度策定予定の福祉計画に一定の指針を盛り込む。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	心身障害者福祉手当と同様に他の手当等を含めて総合的に支援の水準を検討することが必要である。特に、受給者に対する所得制限の導入について検討されたい。
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	本市の場合、合併という他市にない状況下であり、その特殊事情を考慮しつつも、行財政環境の変化への対応や、時代ニーズにあった事業の再構築をしていくため、26市の平均に留意して、本市のサービス水準の適正化を図る必要がある。難病者福祉手当と心身障害者福祉手当との併給は、26市のほとんどの市で実施されていない。よって、併給廃止に向け、関係機関等との調整を図られたい。また、受給者に対する所得制限についても、公平性の確保や給付範囲の適正化の観点から、所得制限の導入について検討する必要があると思われる。
--------	---	--